

議 長

続いて、高良議員の一般質問を行います。3番高良議員。

3番
高良議員

続きまして、一般質問を通告順に従いまして行います。この度は質問の要旨についてですが、「エゴマの生産振興について問う」という事でございます。内容として、今年は、販売量1kgに対して1,500円を助成するという施策の効果もあり、作付面積は、19haを越えたところであるが、まだ需要に対して供給が追いついていないのが現状である。今後も生産量の増加を図るために、町としての考えを問う。

1) 今年のエゴマ販売量1kgに対して、1,500円の助成と脱穀機械の試作に対して、総額で約1,200万円の予算が計上されているが、これからも引き続き同様の助成を行うのか。

2) 需給バランスを確保するためには、今までの収量から見て作付面積はどのくらい必要か。

3) 生産農家の高齢化が進んでいるため、生産量を増やすためには新規参入による担い手の確保が必要と考えるが、どう取り組むのか。

4) 何年で需給バランスを確保する計画か。以上、4点についてお伺い致します。

議 長

それでは、高良議員の「エゴマの生産振興について問う」に対する、答弁をお願いします。番外高良産業振興課長。

番外高良産
業振興課長

高良議員の「エゴマの生産振興について問う」につきまして、お答え致します。

1点目の「今後も引き続き、同様の助成を行うのか」につきましては、販売を目的にエゴマを生産される方への助成金と致しまして、今年度から、出荷量に対する助成額を、1kgあたり1,500円に引き上げ、昨年の5倍とし、予算規模も膨らんでおります。

助成額の考え方は、水稻と同程度の収入になるように、10a当たりの収量を、平均的な40kgとし、買い取り価格などを加味しながら、算出したものであります。平成28年に数字をおきかえると、10a当たり、エゴマは反収40kgとして、155,000円、水稻は反収486kgとして106,000円の収入となりまして、更に、それぞれ経費はかかりますが、エゴマの方が優位性が高いと考え、取り組んでいただきたいと思います。

今年の作付けにあたっては、生産意欲の向上や継続、新規の取り組みにもつながった、というご意見を多くいただいており、更に、面積の拡大にもつながったことは、一定の成果があったと捉えております。

担当課といたしましては、エゴマの生産が基幹産業として軌道に乗るまでは、誘導していきたいと思っております。

2点目の、「需給バランスを確保するために、作付け面積はどのくらい必

番外高良産業振興課長 要か」につきましては、エゴマの生産面積日本一である奥出雲町の32haに追いつくよう、本町では、当面、30haを目指し、取り組んでいるところであります。しかし、面積拡大に向けては、用地の確保をはじめ、生産者の確保、また、苗たてから刈り取り、脱穀、出荷までといった作業過程での様々な課題もあります。一つ一つの課題をどうやって解決していくのか、エゴマ振興協議会を母体に、取り組まなければならないところであります。

3点目の、「新規参入による担い手の確保の取り組み」につきましては、2点目のご回答でも申し上げましたとおり、担い手の確保や育成は、喫緊の課題であります。簡単にはいかない問題ではあります。就農フェアをはじめ、体験モデルツアーの実施など、川本暮らし情報センターや県、定住相談機関などと情報共有を図り、営農計画を示しながら、最大限、取り組んでいるところであります。

4点目の、「何年で需給バランスを確保する計画か」につきましては、健康志向の高まりを背景とした大きな市場の中にあって、いつ、どういう時点でクリアできるのか、確実なことは申し上げられません。

しかし、地方創生加速化交付金での業績評価指標・KPIでは、平成31年産の栽培面積を30haとしていることから、30haに向けた面積拡大や反収の増加が早期に実現するよう、取り組んでまいります。以上でございます。

議 長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番高良議員 この問題は、担当課へ行って聞けば済むような問題なのですが、そうではなくてこれを町民の皆様には知らせていかないと、町民の皆さんがやる気になっていただくモチベーションを上げていただくというところへ繋がっていかないので、先月の初めだったと思いますが、担当課の職員さんと副町長さんに来年もこの補助金をやるのであれば、早く町民の皆さんに周知をしないと来年、次に何をやるかといういろいろ考えがあるので早くした方が良いでしょうとお話をしたんですが、なかなか続ける続けないの話が出てこないの、この一般質問で取り上げた訳ですが、なぜ早く私がここで一般質問をするまで町民の皆さんに伝える事が出来なかったのか、その理由を教えてください。

議 長 番外高良産業振興課長。

番外高良産業振興課長 なぜ、という部分でございますけれども、今、担当課、産業振興課と致しましては、引き続き産地化に向けて基幹産業エゴマの生産振興という事を力を入れておりますので、なぜという事ではなくて、引き続き来年度も誘導していくという事で今、予算措置も含めて今、進めているところでございます。

議 長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員 その基幹産業で進めていくのはよく分かっているのですが、じゃあ副町長にお伺いしましょう。この間、私、直接申し上げたはずですが、それから何も動きが見えなかった訳ですが、それはなぜでしょうか。

議 長 番外松井副町長。

番外
松井副町長 高良議員からそういう話がありまして、それにつきましては庁議等で来年度に向かって早々に取り組まないと皆さん方にも取り組むタイミングを失ってしまうからという話しはしておりますけれども、なかなか今、議員が仰いますようになかなかそれが町民までなかなか伝わっていないという事。これにつきましては、そのやり方等につきましては、もう一度、また担当課とも話しながらやっていきたいなと思っております。

議 長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員 分かりました。これは農業をされている方は良く分かると思うのですが、一年の土地の使い方というのは、いろいろ計画をして何処に何を植えてどうしようというような、その土地々にあった条件の作物とかいろいろ収穫時期とか時期がダブらないようにいろいろ考えて計画をしますので、今このエゴマの振興につきましては、町を挙げての取り組みをしている訳ですから、議会の方が反対の方に予算に対して反対するというような性格のものではないと思いますので、なるべく早く来年もこういう事をやりますから、皆さん一緒に作りましょうというような働き掛けを早く出していただいて、みんなで頑張っていく姿勢が必要だと思いますので、これからもそういう場合はなるべく早く情報を外に出していただくように申し上げておきます。それで今年度ですね、1, 185万の当初予算だったと思うのですが、この度の補正予算で447万の補正を組むというような流れになっております。合わせて1, 600万ぐらいの今現在の段階での補助金を付けております。これが来年、収量が伸びる、再来年収量が伸びていく、助成額が同じという事になれば、その補助金の金額は1, 600万が2, 000万になり2, 500万になりという可能性もある訳ですが、先ほど30ha目標で反40kgという事は、約2, 000万弱の補助金が要るようになると思うのですが、ちょっと暗算で申し訳ないですが、これに対しての財源の確保というのは出来ているのでしょうか。総務財政課長、どちらでも結構でございます。

議 長 番外森川総務財政課長。

番外森川総
務財政課長 このエゴマの振興につきましては、町を挙げて取り組んでいるところでございますので、この財源につきましては今、助成事業につきましては過疎債を過疎の過疎ソフトを充てさせていただいている状況でございます。更に膨

番外森川総務財政課長 らんだ場合に、その財源となるものが何かというのは、その状況を見ながら有利なものを充てていければ充てていきたいというふうに考えております。

議 長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番高良議員 有利になるものがあれば充ててくるというのは当然の事なんです、今、過疎債を使ってやっている訳ですが、その要は町の持ち出しでやっている訳ですよね、簡単に言えば。それについて例えそういう状況であっても主要作物で町が全体で進めていくものだから、例えそういう手を取ってもこれからも財源の確保はしていくと理解しても良いんでしょうか。

議 長 番外森川総務財政課長。

番外森川総務財政課長 この事業を生産が安定するまでのところで今やっているところだと思いますので、財源の確保は出来るように考えて参りたいと思っております。

議 長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番高良議員 分かりました。やるとは言ったがお金が無いので止めましたという事は、例えば作る方としても長期的な計画、先の事を見てどういう投資をしていくかというような時に、なかなか計画を作るのに難しゅうございますので、そういう事をちゃんとやりますというお話であれば、次の計画が組みやすいという事でございます。これが2番目の作付面積に繋がっていく訳ですが、担当課の方は良くご承知と思いますが、エゴマというのは水はけの良い土地でないと出来ません。水はけの悪い土地に植えますと直ぐに葉が赤くなりまして枯れていくというような症状をおこします。そうすると30haの目標の土地に対して、今その水はけの良い土地が幾らあるのか、悪い土地が幾らあるのか、担当課の方でも分からないであろうし、私もはっきりは分からないところでありますが、この30haの土地、今、遊休農地とか或いは耕作放棄地でこの30ha程度の物は賄える状況にあるんでしょうか。それを分かれば教えて下さい。

議 長 番外高良産業振興課長。

番外高良産業振興課長 面積、実際の数字につきましては大変申し訳ありません、手元の方に準備はしていませんけれども、ただ単にそこに用地があれば直ぐ作付出来る物でもございません。議員さんも重々ご承知の事とは思いますが、ですのでそこをいかに所有者の皆様のご理解ですとか、昨年来いろんな水はけも含めて圃場で実証実験も県の協力をいただいてやっております。ですので、先ず1つには繰り返しになりますけれども、そういった用地を確保すること。

番外高良産業振興課長 あと1つは、その次は実際にその用地が使える用地として梘子入れをしていくこと。この事が必要になってくるというふうに認識をしております。

議 長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番高良議員 今、当初、課長の説明にはありましたように、今の1kgあたり1,500円の販売量に対して1kgあたり1,500円の補助金を出していくというのは、水稻と比べて本当に有利な条件なんです。非常に条件は良いと私は思います。そういう事でやろうという気概のある人は、私の耳に入ってくる話しでは増えております。今年も面積を増やすんだと言っておられる方も居られます。こういう皆さんの気持ちをこういうふうを持っていく施策で、大変良い施策だと思いますので、続けていくこと、それと続けていくのは良いんですが、ご承知のように先ほど言いました耕作放棄地、遊休農地というのは非常に荒れた状態で、その中山間の直下払いをされているようなところは土地は守られているんだと思いますが、そうでないところもありますので、そういうところを私が見たところでは今年は草を刈って来年ここにエゴマを作るんだという話しも耳に入っております。そういう動きも実際にあります。そういうところを皆さんのやる気を萎えさせないようにするためにも、先程頃から言うておりますが、補助金制度というのは当然続けていかなければならない。またそうされるからには、或る程度、土地の確保の目途も付けておかないと自分のところの土地がいっぱいになったから余所の土地を借りようと思うんだけど、なかなか借りる所が無いというような事がないように、あらかじめ皆さんに空いた土地は貸していただけるような方向で話しをしていかなければいけないと思うんです。なぜこういう事を思うかという、今40kgという試算でという事でしたが、反あたり50kgでも300万の収入を得る為には4ha作ると。たいへん非常に広い面積が要る訳ですよ。これを一人でやると機械化の話しもある訳ですが、先ほども言いましたようにちょっと機械の話しに戻りますけれども、脱穀機械の試作にも制作費を付けておりましたけれども、その試作品というのは出来たのか、出来ていないのかどういう状況のものなのかというところもひとつ説明をお願いします。

議 長 番外高良産業振興課長。

番外高良産業振興課長 最後ご質問いただきました脱穀機、機械ですけれども、昨年に続いてこの度も2号機を作っております。エゴマの生産者の方、お集まりをいただきましていろんなご意見をいただいて出来上がりまして、実際、今年の作業にあたっては何軒かのところで実際に使っていております。それであとちょっと補足をしますと、では来年度に向けてなんですけれども、皆さんから声を聴く中でこうやって試作機をどんどん進化させていく事も必要なんですけれども、やはり自分の圃場にあった自分の使い勝手の良いオリジナルも私

番外高良産業振興課長 財を買って作りたいという声もありました。ですので一方的に試作機を作るという事もですけども、あと合わせて皆さんがそういったものを自前で対応される場合の何らかの支援というの必要になってくるのではないかとこのように検討しているところでございます。

議 長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番高良議員 この試作機は管理はエゴマの会の方でされておると思うんですが、これは一般の方が借りようと思えば、どのぐらいの単価で貸し出されるものなんでしょうか。

議 長 番外高良産業振興課長。

番外高良産業振興課長 現在まだ試作の段階ですので、これは今、町で管理しております。ただせっかくの試作機ですので、広く皆さんに有効に使っていただくように。これからいろんな実際の取扱いについては検討していかなければいけないところでございます。

議 長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番高良議員 この試作機は因みに幾ら掛かりましたか。ざらっとで結構ですので。

議 長 番外高良産業振興課長。

番外高良産業振興課長 予算は100万少々取っておりましたが、30万程度に収まっております。

議 長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番高良議員 はい、分かりました。予算は100万であったが、30万ぐらいで収まったという事で分かりました。それと先ほど個人の皆様が、それぞれ圃場にあったとか自分のやり方にあったような機械を作りたいという話があるので、それに対しても助成をしていきたい、出来るならばだろうと思うんですが、それも私は別に悪い事ではないと思います。私も今年は脱穀機を2つも試作致しまして、やってみた訳ですが機械があると随分早いのは確かです。それは間違いなく早いと思いますので、先ほど言われたように出来るか出来ないかは別の話として、一人で生計を立てる為には私の目標と考える数量としてはやっぱり、反当たり70kgぐらいを収穫して4.5haから5haから作付けをしていかなきゃならないのかなと思います。そのくらいあると約400万から500万ぐらいの収入になっていく訳ですが、それも当然、補助金あつての話ですので、その状態で良いのかどうかというところは難しいと

3番
高良議員

ころだと思えます。ただ何にしても増やす為には機械が要る訳ですね。今、苗を128穴のポットに苗を作る機械は、市販の機械があります。その苗を植える機械も市販の機械があります。今まで無かったのはその脱穀の機械と、これだけの量を作ると一番問題になってくるのは乾燥場所という事が一番問題になってこれからはくるのではないかなと思います。エゴマを実際やられた方に聞いていただくと分かると思うのですが、なかなかこれは乾かないという事がございます。これから皆さんノウハウをお持ちのようなので、この度、結成されましたエゴマ振興協議会等で話し合っていく事にはなろうかと思いますが、なるべく情報の共有化というのをこれからは対して進めていく事が私は必要ではないかと思えます。それで3番目の新規参入による担い手の確保なんですが、これが体験モデルツアーというような事では、なかなか難しいのではないかと私は個人的には先ほど伺って思った訳ですが、要はこういう収入が得られますよ、こういう収入になりますよ、というのを全面に出していくような取り組みの方が良いと私は考えますが、ちょっとその辺の事はどう思われておられますか。

議 長

番外高良産業振興課長。

番外高良産
業振興課長

まず体験ツアーの関係ですけれども、皆さんいろんなフェアに行きますと一度はそういった先ずこの地がどういう所かという事も含めて、それにつきましては皆さん好評をいただいております。先ずやはりこちらで農業も含めていろんな暮らしを体験するという事は必要性を感じております。それから収入、いろんな経営計画の部分ですけれども、今こちらと致しましては当然エゴマ1つで生計を立てていただくようになるのが一番理想ではありますけれども、では農業と広く捉えた時にエゴマだけではない、じゃあこういったエゴマを1年を通してやっていく、じゃあこういった時期にはもっと、こういった野菜とか産物が、そういう事も広くセットにしながら今お示しをしているところであります。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員

分かりました。エゴマ1品目だけで生活するというのは、補助金があってもこれですから、補助金が無くなると単純に半分になるという事で、なかなかエゴマ一本で作るのは大変難しい、ごめんなさい、生活していくのは大変、金額的に難しいのはよく分かります。よく分かるんですが、そうだからといって新規参入を図るためには、新規参入で他の作物を作っていただいてもどうにもならないですよね。やっぱり農業の新規参入者で、エゴマを作っていただくというような取り組みをしていかないといけないのですが、じゃあ1つエゴマで相方とか3分の1ずつだったら後の2つの品目に何をもってきてどう組み合わせるかというような事まで、立ち入って手を伸ばしていけるも

3番
高良議員
議 長

のかどうかも、ちょっと合わせてお聞かせ下さい。

番外高良産業振興課長。

番外高良産業振興課長

立ち入るという事ではなくてですね、現在、現に例えば三原の方には農業法人組合さんもいらっしゃいます。そういったところが受け皿となっていたいておりまして、いろんな面で指導から農業の要は一から今、関わっていただいている組織もございますので、やはりそういう事も併せてやっていたきながら最終的に新たに来られる方が何を指したいか、そこを町とか県とかいろんな機関で支援する体制が必要ではないかというふうに思っております。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員

町外からのこの間からの新規参入については手厚い保護があると思うのですが、例えば今、町内におられる方が業種を変えて農業をやってエゴマを作ってみようかなと言われた時には、そういう対応する施策はあるのでしょうか。

議 長

番外高良産業振興課長。

番外高良産業振興課長

ご質問の意味、例えば新たにいろんな団体さんがこちらに移られるとか企業参入も含めて広く移られるというご意見かと思えますけれども、特に農業に関しましては県の普及部もこちらにございます。随時そういった相談を受けましたら町、それから県、農業公社、あといろんな関係機関と個別にご相談に応じる体制にはしております。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員

生産拡大に繋げていく為には、どのような条件でどのような話しがあって門戸が開いて助言が出来る助成が出来るというような体制が非常に大事だろうと思います。この度、今年度の補助金を始めて今年度は生産者戸数が何軒増えたんですかね、すみませんちょっと。30件ぐらい、20件ぐらいでしたかね、ちょっと教えて下さい。

議 長

番外高良産業振興課長。

番外高良産業振興課長

補助金ベースで申し上げますと27年度が補助を受けておられた方が39件、今年度が62件になっております。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員

20件で約4.2haの増でしたかね、今年度ね。20件増えて4.2haという事は一人20aずつされている訳ですが、これから後30haに行くには10haぐらい要る訳ですから、今のペースでいくと50件ぐらい新規参入していただかないとならない訳です。そういう訳にはいかないでしょうから、この中から面積を広げられる方はいろいろあるとは思いますが、先ほど何年でという事は31年を30haされているという事で、あと3年か、来年を入れて3年間で、そこまで増やしていく為には1年で、今年度の伸びぐらいを毎年確保していかないといけないという事ですよ。今年度は去年300円だった補助が一気に5倍の1,500円になったという大変インパクトがある助成でしたので増えたんだろうと思いますが、今年の伸び具合を毎年堅持していかないといけない訳ですから、なかなか今からは条件も変わってきて難しい事もあるかと思いますが、これは三宅町長就任以来、このエゴマという物は進めていくんだという事で皆さん一生懸命頑張っておられます。我々もそれに少しでも思っ川本町のためと思っ手を貸している訳ですが、最後に町長の決意のほどをもう一度聞かせていただいて、この質問を終わりたいと思います。

議 長

番外三宅町長。

番外
三宅町長

はじめに今、高良議員のご質問の中で、29年のエゴマの作付についての町としての取組が遅れているという事で、たいへん反省しております。こうして28年も奨励金が生産者のモチベーションを上げたという事でございまして、まだまだ生産拡大を進める中で、当然、奨励金も継続したいという思いであります。当然であります。それと今、TPP関連施策に依りまして、例えば水はけの問題がありましたが、水田から畑作への基盤整備、これは受益者が負担しなくても基盤整備が出来るという事業が、ここ2年か3年の限られた期間でございまして、そういうものがございまして。これにつきましては、担当者がそういう話しがある農家には出掛けて話しをしていると思います。そういう施策を進めながら、これから一層、生産拡大を図っていききたいと思っ。それから本当の担い手の話がありました。4haぐらいの農家で反収が60kg、70kgですか、というような話しでございまして、例えば私の試算でいきますと、1反40kgで4ha、また更に自分で油を摂った加工までした場合は、ちょうど1千万円ぐらいになります。本当にそういう農家が誕生しますと6次産業化というような恰好になろうかと思っますが、なかなかそこまでいくには時間が掛かろうと思っ。一方ではそういう担い手というものを育てていききたい。それから広くは面積拡大でございまして、どんな手法があろうと思っますが、企業の方にも頑張ってもらいたい。また全国公募する中で、この地域おこし協力隊で実際に来年からまた川本でエゴ

番外 三宅町長	マをしたいという青年も現れております。こういう青年等に立派な担い手に育てていきたいというふうに考えています。いろんな方法をとりまして今、このエゴマの振興、そして定住対策の住宅、それから三協の30年4月からの操業開始への支援、この3つについては特に特化して町としても重点的に進めて参りたいというふうに考えております。
議 長	これをもちまして、高良議員の一般質問を終了します。
々	以上をもって、本日の議事日程はすべて終了しました。 お疲れ様でした。 (午後 2時44分)

この会議録は、川本町議会事務局長 櫻本 博志 が記載したもので、その内容において、正確である旨を証するためここに署名をする。

川本町議会議長

川本町議会議員

川本町議会議員